

年間学習目標	・造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。 ・材料などの特徴をとら、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。 ・作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にするようにする。	
	学期	学習計画(単元名)
前期	(絵)世界でひとつわたしの顔 (造形)身近な環境で	○三原色を使って、自分の顔を愛しみながら描く。 ○身近な場所をいろいろな材料を使っていつもとちがう場所につくり変える。
	(立体)私の小さな部屋 (絵)篆刻(文字を彫る) (工作)どんな動きをするのかな	○自分の気持ちを込めた小さな部屋を想像し、粘土の板を使う。 ○自分の名前の一文字を書体を工夫して彫り、印を作る。 ○動く仕組みを使って楽しい作品をつくる。
後期	(鑑賞)表現に込めた思い	○作者が作品に込めた思いを想像したり、調べたりして鑑賞する。
	(絵)墨から感じる形や色 (造形)光のハーモニー	○さまざまな方法を試しながら、墨と和紙で絵に表す。 ○光の効果を考えて美しい空間を演出する。
	(工作)板から何が	○板材の木取りや接合の方法をくふうして、生活の中で長く使えるものをつくる。
	(絵)絵巻物 (工作)織る、編む、組む	○修学旅行の思い絵を絵巻物に表す。 ○織る、編む、組むなどの昔から伝わる技法を使って、生活の中で使うものをつくる。
	(立体)12年後の私	○将来の自分を想像して、その内容がわかるように場面をくふうして立体に表す。
	(絵)版を生かして (鑑賞)味わってみよう、日本の美術	○自分の思いに合った版づくりや刷り方を選んで、試しながら版に表す。 ○生活の中で楽しまれたり使われたりしてきた日本の美術を知り、よさを味わう。
年間授業時数 50時間		

図画工作科の評価

造形への関心・意欲・態	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことやうつくしさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせて、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりする。	表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。	造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。
○学習に取り組む姿勢、作品を作るためにいる準備物の様子や作品を作っている過程やその際の発言の内容など具体的な事柄で評価します。			

保護者の方へ

○学習内容により、学校で材料を用意したり、自分で材料を集めたりします。
 ○仕上がった作品は、大切に扱って頂くと、次の作品へより意欲的に取り組めるきっかけになると考えています。ご協力をお願いします。

